

2025年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
330422106	音楽科研究	永津 利衣			2	必修	2後期

科目の概要

本授業では、DP2「現代のこどもの生活問題に対する認識と、現実の保育現場での課題に対する見識を深め、専門的な知識と技能を身に付け、現代の子育て問題や教育再生、に取り組むことができる」に対応し、小学校教員として音楽を教えるための知識と技術の習得を目的とする。学習指導要領に示された目標や内容を理解した上で、A表現（歌唱・器楽・音楽づくり）・B鑑賞の教科書教材を用いて、音楽的な見方・考え方を養いながら実践的に学習する。

学修内容	到達目標
① 共通事項を踏まえて、小学校音楽科で求められる知識・技能を習得する。 ② 音楽的な見方・考え方について理解し深める。 ③ 教材研究の方法を知る。 ④ 小学校音楽科の目標を理解した上で、学習指導要領の指導内容について、教材研究を基に展開する。	① 共通事項を踏まえて、小学校音楽科で求められる知識・技能を習得することができる。 ② 音楽的な見方・考え方について理解し、実践の中で活用することができる。 ③ 教材研究方を行うことができる。 ④ 小学校音楽科の目標を理解した上で、学習指導要領の指導内容について、教材研究を基に展開することができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	思いや意図をもって演奏したり、批評文を書いたりすることができる。
	働きかけ力	
	実行力	演奏力、表現力を高めるために計画的に練習することができる。
考え抜く力	課題発見力	話し合いや合奏練習などの中で、新たな課題をみつけることができる。
	計画力	
	創造力	音や音楽あるいは文章で、自分の思いやイメージ、意図や考えを伝えることができるよう試行錯誤しながら創意工夫することができる。
チームで働く力	発信力	表わしたい思いや意図、考えなどを、音・音楽あるいは文章で相手に伝えることができる。
	傾聴力	他者の思いや考えを受け止め、かつ、自分の思いや考えも大事にしてすり合わせたり、改善したりすることができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	授業内のルール（期限など）を守ることができる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

テキスト：新版小学校 音楽科教育法（教育出版）、その他、適宜配布する。必要に応じてプリントを配布する。
 参考文献：小学校学習指導要領解説（音楽編）、小学校音楽科教科書

他科目との関連、資格との関連

「音楽科研究」は、専門科目の教科及び教科の指導法に関する科目の一部であり、他教科等において獲得した知識・技能を活用する。また、「音楽科研究」は、その後に履修する「音楽科教育法」「児童音楽」の基盤となる科目である。なお、「音楽科研究」は、小学校教諭一種免許と関連している。

学修上の助言	受講生とのルール
- 自分自身の音楽的技術を伸ばすと同時に、教員として指導技術を習得することも常に意識して受講してほしい。 - グループでの協働学習が多いため、互いを尊重し合い、自由な表現を認め合っていく。 - 幼小連携などを踏まえ、「こども音楽Ⅰ～Ⅱ」を単位認定されていることが望ましい。	- 基本的にすべて出席する。ただし、やむを得ない事由による欠席および遅刻・早退等の取り扱いについては、本学の学則などに則って判断する。 - マナーやルールを守る。 - 準備物：①ソプラノリコーダー（小学校で購入したものでよい。新たに購入する場合は、アウロス製または鈴木楽器製を推奨する。）、②鍵盤ハーモニカ（持っていない方は、唄口を購入する） 指示があった時間に持参する。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標				各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①				
				②				
				③				
				④				
	平常評価	小テスト	0	①				
				②				
				③				
				④				
		レポート	40	①	✓			レポート （獲得）音楽科の目標と内容、「生成の原理」の理解、共通事項の説明（30%） （活用）音楽的な見方・考え方に関する理解（30%） （解決）音楽科で育成する資質・能力についての理解（40%）
				②	✓			
				③	✓			
				④				
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	50	①				発表 （獲得）音楽的な見方・考え方を基にした発表計画（40%） （活用）「器楽」「音楽づくり」のミニ発表 （解決）「歌唱」弾き歌い（40%）
				②	✓			
				③	✓			
				④	✓			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓			主体性 思いや意図をもって演奏したり、批評文を書いたりすることができる。 実行力 演奏力、表現力を高めるために計画的に練習することができる。 課題発見力 話し合いや合奏練習などの中で、新たな課題を見つけることができる。 創造力 話し合いや合奏練習などの中で、新たな課題を見つけることができる。 発信力 音や音楽あるいは文章で、自分の思いやイメージ、意図や考えを伝えることができるよう試行錯誤しながら創意工夫することができる。 発信力 表わしたい思いや意図、考えなどを、音・音楽あるいは文章で相手に伝えることができる。 傾聴力 他者の思いや考えを受け止め、かつ、自分の思いや考えも大事にしてすり合わせたり、改善したりすることができる。 規律性 授業内のルール（期限など）を守ることができる。	
			②	✓				
			③	✓				
			④	✓				
総合評価割合			100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
S(秀) レポート、成果発表、社会人基礎力、積極的な授業参加を総合し、90点以上が取得される。 A(優) レポート、成果発表、社会人基礎力、積極的な授業参加を総合し、80～89点が取得される。	B(良) レポート、成果発表、社会人基礎力、積極的な授業参加を総合し、70～79点が取得される。 C(可) レポート、成果発表、社会人基礎力、積極的な授業参加を総合し、60～69点が取得される。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
1	・オリエンテーション 科目概要や達成目標、評価方法について理解する。 ・小学校音楽科教育の基礎的理解 (1) 音楽科の目標、音楽科で育成する学力、「生成の原理」の考え方について学ぶ。	講義・演習、グループワーク	音楽科の目標、音楽科で育成する学力、「生成の原理」について理解できる。	(予習) 自分が受けてきた音楽の授業を思い出し、まとめる。 (復習) 学習内容についてまとめる。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
2	小学校音楽科教育の基礎的理解 (2) 共通事項について理解する。	講義・演習、グループワーク	共通事項について理解できる。	(予習) 楽譜を読めるように確認しておく。 (復習) 共通事項についてまとめる。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
3	歌唱 (1) 低学年 学習指導要領の目標と内容、歌唱共通教材について学ぶ。 楽典 (1) 音程	講義・演習、ディスカッション	低学年の学習指導要領の目標・内容と歌唱教材を大まかに結びつけて解釈できる。	(予習) 低学年の共通教材を視聴し、歌詞の書き写しと意味調べをする。 (復習) 共通教材の旋律を歌ったり弾いたりして覚える。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4	歌唱 (2) 中学年 学習指導要領の目標と内容、歌唱共通教材、指揮について学ぶ。 楽典 (2) 音階	講義・演習、ディスカッション	中学年の学習指導要領の目標・内容と歌唱教材を大まかに結びつけて解釈できる。	(予習) 中学年の共通教材を視聴し、歌詞の書き写しと意味調べをする。 (復習) 共通教材の旋律を歌ったり弾いたりして覚える。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5	歌唱 (3) 高学年 学習指導要領の目標と内容、歌唱共通教材について学ぶ。 ・変声期の指導 楽典 (3) 調、コード	講義・演習、ディスカッション	高学年の学習指導要領の目標・内容と歌唱教材を大まかに結びつけて解釈できる。	(予習) 高学年の共通教材を視聴し、歌詞の書き写しと意味調べをする。 (復習) 共通教材の旋律を歌ったり弾いたりして覚える。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6	器楽 (1) リコーダーの基礎的な奏法を学び、合奏を行う。	講義・演習、グループワーク、ディスカッション	リコーダーの基礎的な奏法を用いて、演奏することができる。	(予習) 指定されたリコーダー教材曲を視聴する。 (復習) リコーダー教材曲を練習し、指導の留意点をまとめる。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	器楽 (2) 鍵盤ハーモニカの基礎的な奏法を学び、合奏を行う。	講義・演習、グループワーク、ディスカッション	鍵盤ハーモニカの基礎的な奏法を用いて、演奏することができる。	(予習) 鍵盤ハーモニカの教材曲を視聴する。 (復習) 鍵盤ハーモニカの教材曲を練習し、指導の留意点をまとめる。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8	器楽 (3) 学習指導要領の目標と内容、小学校で扱う楽器の基礎的な奏法を学び、合奏を行う。	講義・演習、グループワーク、ディスカッション	小学校で扱う楽器の基礎的な奏法を用いて、演奏することができる。	(予習) 楽器の名前と奏法の説明を調べる。 (復習) 合奏の楽しさと教育的意義についてまとめる。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
9	音楽づくり (1) 学習指導要領の目標と内容、音の聴取、音楽づくりの活動から、音楽について考える。	講義・演習、グループワーク	音楽づくりについて理解し、知覚と感受を基に、音楽について考えることができる。	(予習) 身の回りの音を聞いて、サウンドマップを作成する。 (復習) 知覚と感受を基に、音楽について考えをまとめる。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	音楽づくり (2) 身の回りの音を用いた音楽づくり、身体から出る音や言葉による音楽づくり、旋律づくりを行う。	講義・演習、グループワーク、ディスカッション	音楽づくりの方法を理解し、簡単なリズムや旋律をつくることができる。	(予習) 身の回りの音を聞いて、サウンドマップを作成する。 (復習) 音楽づくりの楽しさと教育的意義についてまとめる。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11	鑑賞 学習指導要領の目標と内容及び内容の取扱い、表現と鑑賞の関連について。ICTの活用。	講義・演習、グループワーク、ディスカッション	鑑賞を通して、知覚と感受を働かせ、文章にまとめることができる。	(予習) 指定された鑑賞曲を聴き、感想を書く。 (復習) 鑑賞教材を聴いて、知覚と感受したこととの関係をまとめる。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	教材研究 (1) グループごとに、発表計画を立てる。	演習、グループワーク	グループで発表計画を立てることができる。	(予習) 発表内容の構想を考える。 (復習) 児童の学習状況を考慮して発表計画を立てる。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	教材研究 (2) グループごとに、発表曲を練習する。ICTの活用。	演習、グループワーク	グループで発表曲を演奏できる。	(予習) 担当するパートを練習する。 (復習) 練習過程を振り返り、課題と改善方法についてまとめる。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	教材研究 (3) グループごとに発表する。 他のグループの発表を聞いて、ディスカッションを行う。	演習、グループワーク、ディスカッション	他のグループの発表を聞いて、観点に沿ってディスカッションできる。	(予習) 録音に合わせて、パート練習をする。 (復習) 演奏経験やディスカッションから得られた、音楽の楽しさや指導の留意点についてまとめる。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	・小学校音楽科の歴史について学ぶ。 ・インクルーシブ教育における音楽科教育 ・授業で学んだことを振り返り、最終レポートを作成する。	オンライン	小学校音楽科の歴史の概要と、インクルーシブ教育における音楽科教育について理解できる。 。	(予習) これまでの学習を振り返る。 (復習) レポート課題に取り組む。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力